

平成29年度 高鍋町立高鍋東中学校 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）4段階評価 【 A・・・よい B・・・概ねよい C・・・あまりよくない D・・・わるい 】

教育目標	自立の精神に燃え、広く敬愛する心を持ち、たくましい創造の力を発揮する生徒の育成に努める。		
目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	○活気にあふれた美しい学校 ○(ひ)人を思いやる生徒 ○(ひ)品性を磨き自己研修に努める教師	○歴史と伝統を重んじる学校 ○(が)がまん強く学ぶ生徒 ○(が)学力を高め実践力のある教師	○地域に根ざした学校 ○(し)心身を鍛える生徒 ○(し)信頼を築き生徒とともに歩む教師
本年度の重点 (教育的課題)	1 学力向上(学力の格差や二極化への対応) 3 健康に留意した生活習慣の確立と体力の向上	2 望ましい人間関係や精神的な逞しさの醸成、いじめや不登校の防止及び早期対応 4 保護者との連携及び地域の教育力を活用した教育活動の推進	

評価項目	方策・手立て	評価指標	自己評価				学校運営協議会委員評価	
			指標別	総合	結果の考察・分析	改善策等	コメント	評価
高鍋町重点導 事 項	【知】 授業改善 家庭学習習慣の 定着	○指導力向上を目指した研究授業や研修を通して授業改善に努める。 ○家庭と連携し、各学年に応じた家庭学習を習慣化させる。	①「わかる授業」をめざした教師の指導力の向上を図るため、年一人1回以上の研究授業を実施する。 ②自分から進んで家庭での学習に取り組む生徒を80%以上にする。	B B	B	①中位以下の生徒にとっても分かりやすいような授業の在り方や補充学習の機会を設定することなどについて引き続き検討する。 ②帰りの会で家庭学習の内容について考えさせる取組を今後も継続するとともに、個に応じた指導も検討する。	知育については、各種のテストで良好な結果が出ている。すべての生徒にとっての分かりやすい授業の在り方について、今後も研究や実践を重ねてほしい。	B
	【徳】 基本的な生活習慣の 定着 新明倫の教えの 推奨	○学校教育活動全般を通して率先した「あいさつ」・「返事」・「靴並べ」・「整理整頓」・「大きな声で校歌を歌う」ことを体得させる。 ○「新明倫の教え」を機会あるごとに唱和すると共に集会等において関連する講話等を行う。	③日常生活の土台となる「あいさつ」・「返事」・「靴並べ」・「整理整頓」・「大きな声で校歌を歌う」の習慣化を図る。 ④学校・家庭・地域において「新明倫の教え」を推進し、80%以上の生徒が暗誦できる。	B B	B	③各項目とも概ね良好である。保護者によるあいさつ運動の返信では「あまりあいさつをしない」「声が小さい」などの指摘もある ④「新明倫の教え」の内容は概ね定着している。暗誦については来年度の課題としたい。	あいさつや思いやりの心など、新明倫の教えの内容は概ね定着している。暗誦については今後検討してほしい。	B
	【体】 生活のリズムの 確立	○早寝・早起き・朝ご飯について、学校だよりや学級通信等で啓発する。 ○1130県民運動(1週間に1回以上、30分以上は運動やスポーツをしよう)を推進する。	⑤早寝・早起き・朝ご飯の実践者(生徒・保護者)数を90%以上にする。 ⑥学校や家庭等において、1130県民運動の実施率を90%以上にする。	B B	B	⑤肯定的な回答は生徒が87%、保護者が76%であった。生徒や家庭への啓発を継続したい。 ⑥部活動や校外種目等で定期的に運動をする機会がある生徒はおよそ8割である。	体育の評価指標に達していない項目については大きな差ではないので、向上を期してほしい。	B
	【信頼される学校づくり】 学校運営協議会の充実 幼保・小中高連携の推進	○学校運営協議会のリーダーシップ、実務者会議の機動性の発揮、地域コーディネーターと連携した取組を行う。 ○学力向上や防災訓練、各種行事等における幼保・小・中・高等学校との更なる連携を図る。	⑦学校を地域や社会に開き、「地域の力」を学校経営に生かし、70%以上の生徒・保護者が十分実感できている。 ⑧幼保・小・中・高との連携の在り方を模索し、連携した行事等を5回以上とする。	A A	A	⑦地域社会で育てられていると感じている割合は保護者が86%生徒で88%で良好である。 ⑧高鍋東小学校との合同研修会を2回、高鍋高校との勉強会等を3回実施した。高鍋幼稚園では家庭科の幼児とのふれあい活動をさせていただいた。	小学校や高校、地域との連携は順調に進められている。	A
知育	授業改善 読書の推進	⑨分かりやすい授業を実践し、授業が分かりやすいという生徒を90%以上にする。 ⑩読書を推進し、本を読む習慣が身に付いている生徒を90%以上にする。	B B	B	⑨授業のめあてやまとめを生徒に浸透させることを共通実践した。生徒の87%が分かりやすく答えられている。 ⑩生徒が64%、保護者が54%であった。図書の貸出状況は良好であり、この結果についてはさらに吟味したい。	学校ではよく本を読んでいる。家庭では時間がとれず、もっと読みたい気持ちの表れであろう。	B	
徳育	優しさ・思いやりと根気強さの育成	⑪優しさや思いやりの心が育っているという生徒を80%以上にする。 ⑫根気強く努力する生徒を育てる。	A B	A	⑪保護者は98%、生徒は96%が肯定的に答えている。日常の言動を見ても穏やかで協調的な生活を送っている。 ⑫保護者は83%、生徒は87%が肯定的に答えているが、根気強さとともに覇気や精神的な逞しさが課題と思われる。	人懐っこさや協調性などがよさであり、根気強さも兼ね備えるように努力してほしい。	A	
体育	体力の向上 食育の推進	⑬新体力テスト8項目において、各学年とも男女それぞれが4項目以上で県平均を上回る。 ⑭「弁当の日」の実践において、自分の健康を考え、実践できる生徒を育てる。	C B	B	⑬上回った項目数は、1年男子3、女子0、2年男子8女子1、3年男子6、女子8で1・2年女子の体力向上が課題である。 ⑭弁当づくり(つくる工程)に関わった生徒は91%という結果であった。今後も継続して「弁当の日」の啓発を行う必要がある。	1・2年女子の課題はあるが全体的にはよく指導されている。来年の結果に注目したい。	B	
信頼 連携 将来 伝統	⑮学校が楽しいと感じている生徒を100%にする。 ⑯学級(学年)通信や学校だよりなどの学校からの配付物を保護者に渡す生徒を100%にする。 ⑰進学先や将来の職業などについて、自分の考えをもっている生徒を90%以上にする。	A B B	A	⑮保護者は89%、生徒は84%が肯定的に答えている。生徒一人一人の状況に目を向けてきめ細かな相談や対応をしていきたい。 ⑯保護者は85%、生徒は91%が肯定的に答えている。通信の種類によっても異なるが、引き続き指導を重ねていきたい。 ⑰保護者は82%、生徒は85%が肯定的に答えている。進路指導を充実させて、早い時期から啓発や指導を進めていきたい。	高みを目指すことは評価できるが、評価指標としてはやや高いのではないだろうか。現状でも満足できるので、引き続き実践を重ねてほしい。	A		

【次年度の方向性についての校長所見】
成績や部活動等での実績、体力及び健康に関する事など、総じて良好である。職員の熱意と保護者の協力、地域の教育力が相まって総合力として作用している。課題として、生徒一人一人が集団に埋もれることなく、自己存在感や自己肯定感を感じることができるよう教育活動を展開していきたい。また、優しさと逞しさを兼ね備えた生徒の育成を図りたい。